

学 び 舎 (まなびや)

～清和台南小学校 学校通信 第7号～
平成29年12月25日

2学期を振り返って

～終業式～



今日の終業式をもって、2学期が終わりました。9月からおよそ4か月、1年間で最も長い、そしてたくさんの行事があった2学期でした。みなさんは充実した学期になりましたか。

2学期の始業式で、今年度の目標である「学び合い」の具体的な取り組み「自分で考える」「考えたことを発表する」という二つについて、1学期から継続してがんばっていきましょうということをお話ししました。そしてさらに、2学期の重点的な取り組みとして「他人の意見をしっかりと聞く」ということを挙げました。

長い2学期を振り返って、この取り組みについて自分自身をしっかりと振り返ってほしいと思います。運動会や作品展、4年生の連合音楽会そして6年生の修学旅行などの取り組みを見ていると、みなさんは自分の取り組みを大切にしつつ、仲間ともしっかり協力して素晴らしい力を発揮したと思います。また、計画委員会を中心とした各委員会の取り組み、そしてその成果と課題を発表した児童朝会などは、清和台南小学校の新しい伝統として、しっかりと定着しているように思います。

しかし一方、個人レベルで見た日常生活の中では、自分の思いをうまく伝えられなかったり、相手の思いを十分受け止められなかったりしたトラブルもありました。みなさん一人一人がそのことをしっかりと反省するとともに、仲間として協力しながら、お互いの違いを認め合い、助け合いができるような集団づくりに、さらに努めてほしいと思います。

明日から二週間の冬休みです。休みに入ると、みなさんを見守る目がずっと少なくなってしまうと思います。その分、自分自身で十分に注意し、健康で安全な冬休みを送ってほしいと思います。特に3学期が始まってすぐに行われる自然学校の準備に入る5年生については、十分な体調管理をして、楽しく思い出のある自然学校にしてほしいと思います。

充実した2学期が無事終わることは何よりもみなさんの取り組みの成果です。ゆっくりとした時間を過ごして、3学期また元気な笑顔で登校してください。2学期、ごくろうさまでした。

見て感じてつながろう

～作品展～



12月5日（火）～8日（金）・10日（日）の5日間、作品展が本校体育館で開催されました。連日遅くまで教職員が残って展示作業をしていたこの作品展、子どもたちが1学期からねばり強く、そして創造力を発揮して完成させた絵画や造形が、先生方の工夫と努力で演出されて、素晴らしい展示になっていました。

今年度は特に図工専科の先生が途中で交代するなど、いくつかの困難な課題を乗り越えてそれぞれの学年集団が力を合わせて完成させた分、児童・教職員の思いが例年以上に込められています。

ある学校の研究会に参加した際に、講師の先生が「アートを上手い・下手で区別しない。アートの学びで大切なのは細やかさと丁寧さ」と話しておられました。

そしてその上で「アートの学びは小学校教育の中核の一つ」とおっしゃっていたのが思い出されます。作品展を通じて子どもたちの毎日の学びを感じ取っていただけたと考えています。



プロジェクトの偉業

～新名神高速道路記念植樹～

12月2日（土）に6年生の有志8人が、10日（日）に一部開通した、新名神高速道路の川西インターチェンジの記念植樹に参加しました。他のいくつかの学校の児童と一緒に集合し、簡単な説明を聞いた後、8人を2グループに分けてそれぞれエドヒガンを記念植樹し、その様子を記念撮影しました。植樹の後、事業関係者の方にインターチェンジ内の施設を案内していただきました。道路整備のためのアスファルト製造工場、そしてIC付近の高速道路の一部などを歩いて見学。もとあった風景が思い出せないほど大きく様変わりした様子に、子どもたちよりも随行した大人の方が驚いていました。

子どもたちが大人に成長したときには、インターチェンジに植えたエドヒガンも成長し、その美しい花は通る人々の目を楽しませてくれるのでしょうか。

